

令和4年度第1回木更津市青少年問題協議会 議事録

1 日 時 令和4年6月28日（火）午前10時～11時30分

2 会 場 木更津市立中央公民館 多目的ホール

3 出席者 渡辺芳邦会長

委員：石井徳亮委員、豊田雅之委員、千代倉順委員、熊切和也委員、卯月睦彦委員、
及川勝正委員、中尾了委員、草苅洋子委員、石渡雅浩委員、駒形哲也委員、
尾崎進委員、齊藤富士男委員、原啓委員、齋藤和利委員、水島享子委員、
濱寄光徳委員、尾坂勇委員、鈴木清委員、齋藤和子委員（20名中19名出席）

木更津市教育委員会：廣部教育長、秋元教育部長、今井学校教育課長、
内海まなび支援センター所長

事務局（生涯学習課）：鈴木課長、高石係長、小野主事

4 議 題

（1） 令和4年度青少年に係る事業等の実施状況について

- ① 生涯学習課
- ② まなび支援センター
- ③ 健康こども部子育て支援課
- ④ 健康こども部こども保育課

（2） 各団体・機関より

- ① 各団体・機関の青少年に係る取組や課題について
- ② 意見交換

（3） その他

5 公開・非公開の別 公 開

6 傍聴者数 な し

7 資 料

（1） 令和4年度第1回木更津市青少年問題協議会会議次第

（2） 木更津市青少年問題協議会委員名簿

（3） 令和4年度第1回木更津市青少年問題協議会資料 全22ページ

資料1 木更津市青少年問題協議会設置条例

資料2 木更津市青少年問題協議会開催状況

資料3 令和4年度青少年事業計画（生涯学習課）

資料4 まなび支援センター運営方針及び活動の重点（まなび支援センター）

資料5 令和3年度子育て支援課主要事業実績・令和4年度実施計画（子育て支援課）

資料6 木更津市の放課後児童クラブ（こども保育課）

8 会議の概要

【委嘱状交付式】

(事務局 高石係長)

ただいまから、木更津市青少年問題協議会、委嘱状交付式を開催いたします。お名前をお呼びいたしますので、その場でご起立いただきまして、自席にてお受け取りください。なお、木更津市青少年問題協議会設置条例第4条第1項の規定により、任期は令和4年6月1日から令和6年5月31日までの2年間となります。それでは、お名前をお呼びいたします。

(市長より委員へ委嘱状交付 全19名)

ありがとうございました。

なお、平野康弘様におかれましては、本日ご都合により欠席のため、後日事務局よりお渡しいたします。

以上をもちまして、委嘱状交付式を終了いたします。

【協議会】

(事務局高石係長)

引き続き、令和4年度第1回木更津市青少年問題協議会を開催いたします。本日の出席委員は19名です。設置条例第6条第2項の規定による、半数以上の出席がございますので、会議は成立しております。

なお、本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されていますが、本日の傍聴人はありません。以上、報告させていただきます。

それでは初めに、本協議会の会長であります、渡辺市長よりご挨拶申し上げます。

(渡辺会長)

皆さんおはようございます。本日はご多用の中、また大変暑い中、令和4年度第1回目の協議会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また日頃から、青少年行政に深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げたいと思います。ただいま、委嘱状交付させていただきました皆様方には、委員として今後2年間、本市の青少年健全育成に関する総合的施策の推進にご指導ご協力をいただきますよう、改めてよろしくお願いをさせていただきます。

さて、近年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、まだ、収束という状況にはない中であって、皆様の所属されている団体の活動も縮小せざるをえない状況であり、対応に苦慮されているものとお察しいたします。新型コロナウイルス感染症拡大は、これまでの日常生活を一変させ、特に青少年をめぐる社会状況に大きな影響を与えているところでございます。このような状況であるからこそ、地域と家庭、学校と行政が連携を強化して、青少年の成長を支える地域社会づくりを推進することがより一層重要であると考えており、当協議会が担う役割は非常に大きいものがあると認識しているところでございます。

また、本年は本市が市制施行80周年を迎えております。新たな未来100周年を見据えたまちづくりの第一歩として、今年を進めていきたいと思っておりますが、様々な記念事業も今進めているところであり、特に子供たち小中学校を中心にファッションショーであったり、アートイベントであったり、様々な子供たちを交えたイベントが、これから大きくクローズアップされると思っております。たくさんの方々に、子供たちに加わっていただいて、それとあわせて大人がしっかりと見守る、そんな事業を進めて参りたいと思いますので、ぜひご協力をいただければと思っております。皆様におかれましては、今後とも青少年の健全育成に、より一層のお力添えを賜りますことをお願いさせていただきたいと思っております。本日は、本年度第1回目の会議でございます。今後の施策や事業に反映させて参りたいと考えておりますので、忌憚ないご意見を賜りますよう重ねてお願いをさせていただきながら冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局高石係長)

ありがとうございます。本日は第1回目の会議でございますので、まず、青少年問題協議会の概要について、事務局から説明させていただきます。

資料1をご覧ください。青少年問題協議会は、地方青少年問題協議会法の規定に基づき、木更津市青少年問題協議会設置条例により設置されている協議会です。所掌事項は、「青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき、必要な事項を調査審議すること」及び「施策の適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を図る」こととなっており、本市の青少年健全育成に関する施策の実施状況や問題点などについて情報を共有した上で、今後の方向性等についてご協議いただいております。組織につきましては、会長は市長をもって充てることとなっており、関係機関団体等からそれぞれご推薦いただいた、今期は20名の委員の皆様を、市長が任命する形となっております。

続きまして、資料2をご覧ください。協議会の直近3年の開催状況でございます。昨年度は第1回青少年問題協議会にて、各団体・機関の青少年に関わる取り組みや課題についてお話いただき、その後、意見交換をしていただきました。第2回青少年問題協議会については、研修会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、中止とさせていただきます。今年度の開催につきましては、年2回とし、本日は各団体機関の青少年に関わる取り組みや課題についてお話いただき、第2回では、研修会を予定しております。以上、事務局からの説明でございます。よろしくお願いいたします。

続きまして、委員の皆様から自己紹介をお願いしたいところですが、時間の都合上、お手元の資料の委員名簿により、割愛させていただきたいと存じます。それでは、議事に入らせていただきます。議長につきましては、会長であります、渡辺市長をお願いいたします。渡辺会長、よろしくお願いいたします。

(渡辺会長)

それでは議長を務めさせていただきますどうぞよろしくお願いいたします。早速議事に入らせていただきます。初めに役員選出についてご協議をいただきたいと思います。木更津市青少年問題協議会設置条例第3条第3項の規定により、委員の互選により、副会長2名を置くということになってございます。選出についてはいかががいたしましょうか。

(「議長一任」の声あり)

議長一任ということの声がありましたけれども、事務局から何か案があればお願いいたします。

(事務局高石係長)

事務局から提案させていただきます。木更津市議会議員であり、市議会、教育民生常任委員会委員長であります石井徳亮委員。もう一方については、青少年育成団体の代表であり、青少年問題に日頃から深く携わり、活動いただいております尾崎進委員。このお二方を推薦したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(渡辺会長)

ただいま、事務局より説明がありましたが、事務局案に賛同していただける方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

ありがとうございます。挙手全員でございます。よって本協議会の副会長は、石井徳亮委員、尾崎委員をお願いすることといたします。それでは、石井副会長、尾崎副会長の順にご挨拶をお願いいたします。

(石井委員)

ご指名いただきました石井でございます。よろしくお願いいたします。会長を補佐いたしまして、協議会がスムーズに運営できますよう、尽力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(尾崎委員)

ただいま、大役を仰せつかりました青少年育成木更津市民会議会長の尾崎と申します。皆様のご指導ご鞭撻のもとで、会長を補佐し頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(渡辺会長)

ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、協議事項の2に移らせていただきますが、まずは、木更津市の各担当4課からの報告をさせていただいて、ご質疑等があれば、お受けさせていただきたいと思います。そのあとに、各団体機関から、お話をいただきながらの意見交換を行いたいと思っておりますので、ぜひ皆さんに、忌憚のないお話をいただければと思っております。それでは早速、令和4年度青少年に係る事業計画について、生涯学習課から説明をお願いいたします。

(生涯学習課 鈴木課長 資料3により説明)

(渡辺会長)

続いてまなび支援センターからお願いいたします。

(まなび支援センター 内海所長 資料4により説明)

(渡辺会長)

続いて、子育て支援課から説明をお願いいたします。

(子育て支援課 草苅課長 資料5により説明)

(渡辺会長)

続いて、こども保育課から説明をお願いいたします。

(こども保育課 石渡課長 資料6により説明)

(渡辺会長)

それではただいま、4つの課から事業計画の説明をさせていただきましたが、ご質問、ご意見がございましたら、ぜひ、ご発言をいただきたいと思いますと思っております。

(石井委員)

子育て支援課のこども家庭相談の相談実績の中で、内訳とすると児童虐待相談と、それ以外の相談という形で多く二つに分かれていると思いますが、児童虐待については色々なケースがあると思います。その中で主だった内容と、それ以外の相談では、どのような相談があるのか教えていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(草苅委員)

児童虐待の主な相談の内訳ですが、一番多いのは身体的虐待の相談です。それ以外の相談は、しつけや発達の相談などになります。相談を受けていると、最近はお子に育てにくさがある、それに発達の問題が多かれ少なかれ絡み合っていて、結果的に虐待に発展してしまっているというものは多いです。また、近所で泣き声がするなどの通告があり、それを見に行く対応も多いです。

(豊田委員)

子育て支援課にお聞きします。私のところでもネウボラなどで、大変お世話になっているところですが、発達の気になる子供が結構増えているような状況だと思います。タイムリーに、ご訪問いただけるようなシステムを今やっておられると思いますが、とても忙しそうで、毎日色々なところに出かけておられているかと思います。それが、もう少しサポートできるような、体制が、行政の中でもできるのかなと思うのはするのですが、中々難しいとも思っています。今日来ていただけるといいなという場面もあったりするので、いかがでしょうか。

(草薙委員)

保育園、幼稚園等の巡回相談というのがネウボラを立ち上げて、スタートしたところですが、大変ニーズが高く、タイムリーに対応できていないのは申し訳ないと思っています。少しずつ、拡大をしていきたいと思っているのですが、色々な諸事情がございまして、現在の状況に至っているような感じです。資料の実績をご覧いただいたかと思いますが、延べ件数で500件近い、お子さんを見に行くような状態が今続いていまして、新設の保育園とか、あと小規模からのニーズも高いです。ですので、できるだけ対応できるような体制づくり、また、この巡回相談の目的は、保育士さんたちが気になるお子さんたちに対して、上手く保育できるようになることを支援することですので、保育士さんたちに、少しでも頑張ってもらえるような支援をできるようにこちらもしていきたいと思っていますので、引き続きどうぞよろしくお願いします。

(渡辺会長)

他にございませんでしょうか。

それでは、次の協議事項に移らせていただきたいと思います。本日は、新しい体制となつてからの最初の協議会でございますので、本日出席されている皆様から、それぞれの団体、機関の概要等についてご紹介いただきたいと思います。加えて、取り組んでいただいております、青少年健全育成に関する取り組み、また抱えられている課題等についてもお話をいただきたいと思います。お話しいただいた後に意見交換を行いたいと思います。大変恐縮ではございますが時間に限りがございますので2、3分をお願いいたします。それではお手元の委員名簿の順番で進めて参りたいと思います。着座をお願いできればと思います。まずは、木更津市議会の石井委員、お願いいたします。

(石井委員)

木更津市議会では、青少年健全育成について、積極的にこれという活動はありませんが、議案で出てきたものや、陳情請願で出てきたものをきちんと協議して採択をし良い考えを伝えていくような形で進めております。以上です。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、教育委員会、豊田委員お願いいたします。

(豊田委員)

教育委員会は廣部教育長のもと、木更津市教育大綱等に基づいて、小中学生の学校教育等、各課の職員の皆さんが、子供たちのために一生懸命、日夜頑張っていただいているセクションでございます。私なりにこれからコロナ禍ではありますけども、子どもたちを元の日常生活に戻してあげたいなと思っております。そのために、昨年も言いましたが、できない理由ではなくてできる方法を考えていければと思っております。

個人的には先ほど質問させていただきましたが、保育園とそれから放課後児童クラブ2ヶ所の運営をしておりますので、日常のほとんどが青少年の健全育成に関わっているところで、また、ここにお集まりの皆さんに日頃からお世話になっているところでございます。今後ともよろしくお願いいたします。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、社会教育委員、千代倉委員お願いいたします。

(千代倉委員)

社会教育委員会では、社会教育という非常に広範な問題を取り扱っています。教育長の諮問があった場合には、答申という形で答えます。それ以外に自分たちで個別の調査研究ということで、今年度は世代間交流・地域コミュニティについて、社会教育施設のあり方について、青少年育成について、社会教育団体の育成及び社会教育団体の活動状況について等々の問題を取り上げ、それらについて、個別に調査研究を重ねているところでございます。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、南清小学校、熊切委員お願いいたします。

(熊切委員)

南清小学校ですが、基本的には子供たちは地域で育つと考えております。地域の公民館を通じまして地区の住民会議ですとか教育フォーラムなどにも職員が参加させていただき、校内では、先月、教育相談週間ということで子供たちの声に耳を傾けようと、一対一での面談形式をとりまして、子供たちの家庭での悩みごと等々を聞き出しながら、子供たちの健全育成を図っているところでございます。その教育相談の中で今、大変話題になっているといえますか、意識が高まっている虐待の発見に繋がり、市の子育て支援課さんの方に相談というようなケースも生まれてきておりますので、今後とも継続して、子供たちの声に耳を傾け、地域の方との、コミュニケーション・交流、そして子供たちとのコミュニケーション・交流というのをさらに深めて、子供たちの育成に励んでいきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、木更津高等学校、卯月委員お願いいたします。

(卯月委員)

木更津市内には公立高校2校、国立の高専1校、私立高校4校ございます。それぞれ特色ある取り組みをやっておりますので、学校のホームページ等で、ご確認いただければと思います。健全育成になるかどうかわかりませんが、今年こんなことがありましたというエピソードを一つだけ紹介させていただきます。ゴールデンウィークが明けた頃だったのですが、木更津東高校1年生の生徒2人が下校する途中に、ゴミステーションのごみがとても散乱していたということで、それを見た2人が素通りせずに、近くにあった、100円ショップでゴミ袋を買って片付けているときに、本校の1年生、中学校の時の同級生が通りかかって、何してるのということで声をかけ、一緒に掃除をしたということがございました。それを見ていた方から情報が入って、東校、本校それぞれ知るところとなり、その子供たちは、市内の太田中学校の卒業生だということがわかりました。とかく、通学路じゃない道を歩いているとか、コンビニでたむろしているであるとか、悪いことは目につくのですが、いいこと悪いことを含めて、何かありましたら学校にお声がけいただいて、みんなで見守っていく、指導していく、育てていく、そんな体制がとれればと思っております。よろしくお願いいたします。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、民生委員児童委員協議会、及川委員お願いいたします。

(及川委員)

民生委員児童委員は、大体300から350世帯に1人の割合で、全国に配置されています。木更津市は、現在224人民生委員がおりまして、15の地区に分かれております。その民生委員の中で、児童・学童を専門に担当する主任児童委員というのが、各地区に2名ずつ、合計で30名おります。主任児童委員は、それぞれの担当してる学校、或いは行政との間に立ちパイプ役となり、児童の健全育成に努めているというような状況です。他の団体と民生委員児童委員の大きな違いは、先ほども申しましたけど300から350世帯に1名というような形で、個々のお宅にお邪魔して、それぞれのお宅の状況がどのような状況になっているかっていうのをまず把握して、その中で、困っている高齢者の方とか、問題児を抱えて悩んでるご家庭を把握して、それぞれの担当部署を、それぞれの団体等にですね、連絡して、協働した上で困ってる方の悩みを救ってあげるというのが、民生委員の仕事でございまして、今年の11月末で3年の任期を終え、12月1日からまた新たな体制に入る状況で、今新しい人選をしている最中で、人探しに苦労している状況でございまして、それぞれの担当地区の中で、児童の健全育成に努力していきたいと思いながら日々活動しております。以上です。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、保護司会、中尾委員お願いいたします

(中尾委員)

今年も社会を明るくする運動が7月から始まります。コロナ禍の関係で、中学校の校門の前でのビラ配りなどは、今年も中止になりました。来年は行う予定でおります。ですから小学校中学校には、作文の作成をお願いに上がります。昨年の作文は、太田中学校2年、高橋真世さんが、保護司会連合会会長賞を受賞されました。今年も何か賞が取れるように、提出いただいた作文の中から推薦したいと思いますので、よろしくお願いいたします。以上です。

(渡辺会長)

ありがとうございました。草苅委員、石渡委員には先ほどご説明いただきましたので、続いて、家庭裁判所木更津支部、駒形委員お願いいたします。

(駒形委員)

家庭裁判所では青少年に関わる事務としまして、少年審判手続きを行っております。これは犯罪を犯して、警察や検察庁から送られてきた14歳以上20歳未満の男子女子、これらを我々は犯罪少年と呼んでいますが、犯罪を犯した少年に対して、教育的な処分を決める手続き、これが少年審判手続きであります。家庭裁判所では裁判官が処分を決める前に、我々調査官が少年、保護者と面接、調査を行ったりしまして、非行に至るメカニズムを分析して、その結果を踏まえて、二度と少年が非行を起こさないように、必要な教育的な指導の内容を考えて、処分を決めるという流れになっております。犯した非行の深刻さなどから、非行に至るメカニズムをより詳しく調べるために、千葉市内にあります千葉少年鑑別所による心身鑑別を受けさせた上で、処分を決める場合もあります。家庭裁判所では少年の立ち直りには、家族を始めとする周りの方々の様々な支えが必要不可欠であると考えているのですが、やっぱり支える環境が脆弱であった場合、例えば保護者との関係が悪くて、少年がその保護者の言うことを聞かないですとか、地元の不良仲間との繋がりを断ち切ることがなかなかできない場合には、やっぱり非行を繰り返す恐れがあります。そこで、千葉家庭裁判所の管内では現在、犯罪を犯した少年の処分を決めるまでの数ヶ月の間、少年を手元に置いていただいて、規則正しい生活を送らせながら、手に職を付けさせたりし、まともに働きに出たりすることで、犯罪と無縁の健全な価値感を身につけさせてくださるような指導者の開拓に力を入れております。関係機関の皆様には、非行少年の生活の世話でありますとか、指導を引き受けていただき、その立ち直りに力をお貸しくださるような雇用主の方がおられましたら、こういった協議会の機会などに情報提供いただければと思っております。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、青少年育成木更津市民会議、尾崎委員お願いいたします。

(尾崎委員)

お手元の資料の10ページをご覧ください。3のその他(ア)に、青少年育成木更津市民会議のことが述べられてます。組織につきましては、中学校区が12ありますが、それぞれに住民会議が設けられています。住民会議は、地域の区長、町内会長、それから青少年に関わる青少年相談員や青少年補導員、または防犯指導員と、小中学校の校長先生、PTA関係者など、もろもろの方々が参加されてます。実際どんな事業をしていくのかということで、9ページをご覧ください。生き生き子ども地域活動促進事業というものがあります。この事業は、地域によって、それぞれ特色があります。地域に応じて、地域の子供たちと、どのように関連を持っていくのか、コミュニケーションを図りながら、子供たちの健全育成に寄与していくのかということで、公民館と一緒にそれぞれ活動しております。活動状況としては、この2、3年は、コロナ禍で子供と直接関わっての活動がほとんどできていない状況です。しかしその中でも、子供とどうにか関わってこうと創意工夫しながら、携わってる地域がたくさんありました。ちなみに私は太田中学校区に所属しております。太田中学校区では、住民会議が中心

となって、電柱や壁に貼ってある、いかがわしいポスターを皆さんで剥がす浄化活動をしました。皆さんのご協力により、町がすごく綺麗になりました。

また、どのようにすれば子供たちが安全で安心して過ごせる町ができるだろうかということで太田中学校区では危険箇所パトロールを始めました。これは記憶も新しいと思いますが、八街で子供たちが交通事故で犠牲になりました。木更津でも、江川での交通事故により尊い命をなくした小学生もいます。そういった関係もありまして、7、8年前から危険箇所パトロールとして、年2回、子供たちの通学路が本当に安全なのか、また、子供たちが生活していく中で、犯罪やそういったものに巻き込まれない町なのか等、町のいろいろな条件をパトロールしながら確認をしています。パトロールに際しては、町の全体地図を作りまして、班をいくつかに分けて行きます。パトロールした箇所を写真で撮るなどし、一覧表にまとめて、これは行政の土木課にお願いしよう、ここは自分たちで対応しよう等を話し合っています。行政の方もお忙しいわけですから、そこまでできないと思います。市民の目、その地域に住んでいる方々の目で、そこを補っていくというような活動です。

それから太田中学校区では、公民館から学校へ通う通学合宿を子供たちとのコミュニケーションを図るための事業として行ってきました。残念ながらコロナ禍で、ここ3年はできなかったのですが、それに代わるものとして、スマイルフラワー運動を展開してます。日頃、学校ボランティアとして、街角に立って登下校する子供たちを見守ってくださっているボランティアの方に、子供たちが心を込めて花を送ろうということで、鉢にお花を子供たちと我々が一緒になって植えて、そこに感謝の気持ちをプレートに書き、それを挿して送るという運動を展開して参りました。

スポーツ面では、縄跳び大会を何十年も開催していましたが、こちらもコロナ禍でできませんでしたが、コロナが収束しましたら再開しようと思っています。とにかく子供たちと、いかにコミュニケーションをとって、子供たちが安心して安全なまちづくりにしていこうと考えながら取り組んでいます。これらの活動が全体で行われているということで、市民会議は直接子供に携わっています。皆さんのお力を借りるかと思いますが、その時はよろしくお願いいたします。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、区長会連合会、斎藤富士男委員お願いいたします。

(斎藤富士男委員)

区長会連合会では直接子供と関わる事業というのはございません。そこで私が岩根西地区の出身でありますので、先ほど尾崎委員からも話がありましたが、岩根西地区の住民会議やまちづくり協議会の活動についてお話します。青少年育成岩根西地区住民会議では、できることをやろうということで、浄化作業と講演会を行っています。講演会については、企画案を作成して、先般、総会の席でその発表があったところです。

また、まちづくり協議会では、やはり子供たちが参加する事業については、ことごとくできていない状態ですが、その中でラジオ体操を再開しようということで、従前は日中に集まって開始し、最後に打ち上げイベントを体育館で行っていたのですが、それは中止し、各会場でそれぞれ、やれる範囲で縮小しての開催を企画しています。今年は、高齢者の体力維持ということもありますが、高齢者の方々にも応援してもらいながら、子供たちが少しでも参加し運動ができるよう準備を進めています。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、かずさ青年会議所、原委員お願いいたします。

(原委員)

私どもは例年、かずさ天才子供塾というものを開催させていただくなど、色々な事業を行っていたのですが、昨年度と本年度につきましては、青少年というよりは、子育て世代に向けて、昨今インターネットが普及するにあたり、子供たちが性に対する媒体に対して、目を通しやすい環境になってきているということで、それを、親御さんたちがどのように正しい道へ導いていけるかということで「とにかく明るい性教育のパンツの教室」の代表理事、野島奈美様をお

呼びしての講演会を、昨年と今年続けて開催させていただいております。本年度につきましては、6月に金田地域交流センターで開催させていただきまして、200名前後の保護者の方にご参加いただきました。本年度は、いのちと愛と防犯の話ということでお話いただきまして、一部行政機関からもご参加いただいて、教育現場でどのように、性に対して対応した方がいいのかなどのご質問とかもありましたので、これについてはまた引き続き、来年度にも繋げていければと思って活動しております。

また、子供たちに向けての活動に関しても検討をしております。昨今は、紙幣を使わないで、Suicaなどで買い物ができる時代になってきて、お金の概念が薄れてきているという話もありましたので、そういったことを学べる機会の場の提供ということを踏まえた事業を構築している段階でございます。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、青少年補導員連絡協議会、斎藤和俊委員お願いいたします。

(斎藤和利委員)

我々補導員は、まなび支援センターの中にある団体です。先ほども内海所長様からある程度説明いただきましたが、かいつまんで私の方から活動等についてご報告させていただきます。我々補導員は各地区のパトロールを行っています。地区は現在13学区、先ほど人数78名という報告がありました。そのメンバーと地区を中心に活動させていただいております。活動内容としましては、JR乗車マナーを年2回行っています。明後日の午後、久留里線に3時過ぎに乗車して、久留里まで行って帰ってくるという形で行う予定でおります。他にも街頭指導ということで、秋に駅前にて啓発物、ティッシュやら、以前は眼鏡拭きだったり、油とり紙等々を配り、高校生とお話しながら、状況を聞く活動をさせていただきました。それから、今年は7月の末でございますが、夏に県下一斉パトロールという形で千葉県内の各市で行います。

また、昨今、単純にパトロールしていても、子供たちが見当たりません。私は鎌足地区の人間ですが、子供を見るより下手をすると猪がいたという声が出てきまして、かえってその方が危険なのではないかという状況もあります。現代の子供たちは、SNS等々、どちらかという外で出て遊ぶよりも、家の中、自分の部屋で、パソコン、スマートフォン等々を使って、外部の方に接続していることの方が多いようです。その中で、先ほども少しお話がありましており、本来見てはならないところまで見てしまうということがあのようなので、我々補導員の立場としても、毎年勉強会学習会等々を実施して、そういったことへ対して指導するための研究をさせていただいております。

県内で補導員のある市は、千葉県内17市です。その17市の千葉県青少年補導員連絡協議会と情報交換をし、また意見交換をしながら、補導員の資質向上に努めて参ります。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、青少年相談員連絡協議会、水島委員お願いいたします。

(水島委員)

相談員は、木更津市内111名の相談員がいると聞いておりますが、各小学校区に数名配置されておまして、私は清見台小学校区の活動をさせていただいております。主な活動としては、まず、相談員の知名度がとても低いということで、まず名前を売っていかなくてはいけないところから始まりまして、なるべく地域の行事、住民会議や去年発足したまちづくり協議会、そういったものにどんどん顔を出して地域の方々とともに活動しながら、子供たちに青少年相談員という名前を覚えてもらうところから始めております。全体としても、各小学校区に相談員がおりますので、それぞれ地元の地域の方々と一緒にそれぞれ思考を凝らして活動しているというのが、主な活動になっております。「ともに喜び、ともに語り、ともに活動する、ともに行動する」これをキャッチフレーズに、市内が一丸となって活動しているところであります。

その中で少し気になっていることがあります。それは、小学校、中学校の児童生徒を対象に活動しているのですが、本来この年に経験しなくてはいけないこと、卒業式、入学式、校外学

習、修学旅行そういったものがここ数年ことごとく中止となり、経験できていない。また、マスクをすることに慣れてしまっていて、マスクを外すことへの不安、友達の表情は目しかわからない。そういった中で我慢を強いられている子供たちが増えていることです。今後、マスクを外していいよって言った時に恥ずかしいとか、外すのが不安だから、別になんでもないけどしているわという声も、最近聞いておりますので、早くいつも通りの日常に戻れることを願いつつ、また地域の方々とともに一緒に活動できたらなと思っております。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、PTA連絡協議会、濱寄委員お願いいたします。

(濱寄委員)

当協議会は、市内各小中学区の代表28名から成る理事さんを集めまして、各学校PTA間の交流を深める活動をしています。近年、コロナ禍におきまして、主な事業活動は、ほとんどできていない状況になっております。本年度は、そこを何とか少しずつやっという取り組みを進めておりまして、主な活動としましては、ママさんバレーボール大会の開催、あとは研修集会の開催、広報誌コンクール等の開催を予定しております。しかしながら、今週末に予定しておりましたママさんバレーボール大会につきましては、参加校の中から感染者が出ているという状況になりましたので、直前ではありますが中止という決定をいたしました。今後の活動につきましても状況見ながら、活動を進めていきたいと思っております。学校行事も中止、或いは予定を変更する中で、色々な情報が必要であるということで、各学校のPTAの活動についての情報交換を行い、今後の活動に繋げていければと思っております。

(渡辺会長)

ありがとうございます。続いて、子ども会育成連絡協議会、尾坂委員お願いいたします。

(尾坂委員)

子ども会も、ここ2年はほとんど活動ができていなく、また、総会の方も、2年間書面決議とさせていただきましたが、令和4年度につきましては、縮小しましたが通常総会ができました。活動はまだまだ制限されておりますが、子ども会連絡協議会としましては、新型コロナウイルス感染症の対策を徹底して行い、育成者が見守る中、多くの行事ができるように進めて参りたいと考えております。課題としては、子ども会は、幼児から中学3年生までを対象としておりますが、少子高齢化或いは自然人口の減少により、会員数が年々減少しておりまして、子供たち個々の体験不足、コミュニケーション不足となっているのは、事実だと思います。子ども会といたしましては、対策として「子ども会に入ろうリーフレット」を2万部作りまして、各部署に配布いたしまして、自治会学校生徒ボランティアなどと連携をし、地域コミュニティの活性化を目指しているところでございます。リーフレットの配布により、20年ぶりに稲荷町子ども会が加入し、また、本郷1丁目に子ども会が発足するという話を聞いております。そうしたリーフレット或いは、広報誌がPRになって少しずつ活性化されてきているような気がしております。

今後さらに、子供たちの楽しさを何らかの形でPRしていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、社会福祉協議会、鈴木委員お願いいたします。

(鈴木委員)

社会福祉協議会では、市から事業受託をしている学習支援事業を今年も実施しております。現在市内では4ヶ所で行っており、うち1ヶ所、富来田地区が増えました。その中で、公民館等で2時間程度の事業をするのですが、遊び用のゲームをしたり、勉強したりということで、子どもの居場所づくりをメインに考えております。登録人数は、現在20人で、年間通して40回ぐらいやる予定です。

(渡辺会長)

ありがとうございました。最後に、更生保護女性会、斎藤和子委員お願いいたします。

(斎藤和子委員)

日頃皆様には大変お世話になっております。ありがとうございます。更生保護女性会は、77名の女性の方で、ボランティア活動をしております。今年もコロナの関係で、啓発活動や刑務所訪問は中止しております。今年は、保育園に出向きまして、絵本の読み聞かせや、紙芝居、そういうものを、おばさんパワーで頑張っております。またこれからもよろしくお願いいたします。

(渡辺会長)

皆さんありがとうございました。それでは、一通り皆様からのご報告があったところで、意見交換の場を少しとらせていただきたいと思います。ただいま、各団体機関よりご報告いただいたことに関して、ご質問、ご意見等ございましたら、ぜひお願いしたいと思います。また他にも、日頃から青少年健全育成等に対して、感じていらっしゃるがありましたら、ぜひご発言をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(豊田委員)

昨日、木更津市危機管理課から「子ども達を誘拐する」というメールが届いたということで、連絡がありました。日頃から地域の方々には、ご協力いただいているところですが、こういった有事の際には、玄関前にも出ていただけるだけでも、地域に目が届くと聞いておりますので、私から申し上げるのもおかしいのですが、是非ご協力の程よろしくお願いいたします。私も学童保育協会でも色々な方とお話をして、しばらくは迎えにきていただけるような対応としております。

(渡辺会長)

ありがとうございます。各地、各自治体それぞれ、戸惑っておりますけれども、ぜひ皆様のご協力をいただいて、子供たちの無事を見守っていきたいというふうに思っております。よろしくお願いいたします。

(石井委員)

先ほど、青少年相談員の水島委員から団体・活動の知名度が低いというお話や、子ども会の尾坂委員からPRについてのお話がありました。市議会では市議会だよりを発行しており、実際にどのくらいの方に読んでいただいているのかというと、市民の方の5%~10%ぐらいではないかと思っております。意見等の募集もしておりますが、意見をいただける方はそのうちの5%~10%ぐらいとなっております。そういった状況を見ますと、団体や自治体が周知をしていくのが、いかに難しいことかを改めて感じ、方法等を考えているところです。また、今回の6月議会で個人の方からの陳情がありました。通常ですと陳情は団体等から、そういったものになりますが、個人の方からの陳情ですと、人口13万5千人のうちのお一人の意見で市議会が動くという難しい話にもなってきますので、意見の求め方、意見の扱い方、周知の仕方というのは非常に難しいと感じました。皆さま方も苦勞されているかと思いますが、こんな周知をしている、こんな周知が良いなどありましたら教えていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(水島委員)

先ほど知名度が低いと私の方から申し上げたのですが、実際私自身も、相談員をやってくれないかと依頼されたときに、何だそれはと思いました。どこかに籍を置いて、相談役として、いなきやいけないのかとか、色々な相談を受けなきゃいけない、それに対して答えなきゃいけないとか、色々な妄想を膨らませたんですが、実際、相談員になって今年で10年目になりますが、今一度、子供たちから相談を受けたことはありません。では、相談員って何、そもそも相談員ってどこに籍を置いて何をして、何の団体なのという質問は今でも受けます。そのたびに

聞かれたことには答えてはいるのですが、こういった活動をしているかをまず見て欲しいので、私の地域、清見台地区では、事あるごとにイベント等に参加し、地元の方と一緒に活動をさせていただいています。幸いに今年度、任期替えで新しく始まった任期初年度（1任期3年）になりまして、市の方からポロシャツを作っていただきました。今までのポロシャツは、きさぽんがワンポイント入ってるだけとか、青少年相談員って小さく名前が入ってるだけのものだったのですが、名前を大きく入れてくれと依頼をしまして、今年度のポロシャツは背中に大きく木更津市青少年相談員と入れてくださり、これがまた着るとすごく目立って、何よりのアピールにはなってると思います。まず服装から入っています。他には、活動するときに、のぼり旗を立てたりだとか、自分たちで作った看板を立てて何かやったりだとか、そういったことでしかアピールができないので、もう自分たちで考えてやるしかないのかなとは思っておりますが、どこかで、やっぱり青少年相談員、他の団体さんもそうだと思うんですが、名前は大きく出して、この人たちが活動しているんだよというのを、もっともっとアピールしていかないといいなと思っています。在籍している人たちの年齢もだんだん高くなってきております。20歳からできますよということはお伝えしているのですが若い人がなかなか入ってきてくれない。それと、相談員の方は各自治会から1人推薦されて成り立っております。清見台・太田地区は8個の自治会がありますその中から1人推薦されて出てきておりますので8名いるのですが、その自治会から1人出すのが、もうどうにもならない、誰もやってくれない、そんな状況で3年を何とか乗り切って、次の人を探さないとやっぱりやり手がない、そんな状況になってしまうかと思っています。私も結局10年目になっております。なので、もっともっと市民に伝わるように何かいい案がありましたら、教えてください。

（渡辺会長）

それぞれの団体で良い案がございましたら、ぜひ、ご紹介いただければと思いますけどいかがでしょうか。

（尾崎委員）

先ほど水島さんからありましたように、本当に選出するのに苦慮しています。先ほどの民生委員の方もそうなんですが、区長とか市政協力員になりまして、民生委員、補導員、そして今水島さんが挙げた相談員、それから防犯指導員と、そういった役職を全部、町内の方で推薦するという形になるわけです。現実問題、今ほとんどの町内会が高齢化が非常に進んでおりまして場所によってはそうではないかと思いますが、私どもの方はもう高齢者がかなり進んでいて、町内会組織そのものが危ぶまれています。そういう中で、また、人を選出していかなきゃならないということなのです。行政の方で、ある程度こういった方がいいんじゃないかということが市政協力員の方に、情報を提供していただければ改善に繋がっていくのではないかと思います。本来は、区長さん、それから会長さんが一番地域を知っているわけだから、わかるだろうという、建前であると思うのですが、実はそうは上手くいかなということ。区長連合会の会長さんも今日お見えになっていますが、そういう危機的状況で、いかに地域から人を選んでいったらいいのかということを、やはり、これから検討する必要があるのかなと思っています。例えば、相談員であれば、小学校区中学校区のPTAさん、それを主体にしてみてもはどうだろうかとか、補導員にしても、こういう団体からどうだろうかというような形で選んでいけば良いのではないかと個人的には思います。町内会とか、区に全てお任せというのは、どんどん難しい状況になっていくような気がいたします。その辺ご検討いただければと思います。

（渡辺会長）

ありがとうございます。貴重なご意見、また検討させていただきたいと思います。PRの方もこれだけ情報量多いと、埋没されてしまうことが多くて、市もやっぱり悩んでおります。どうやって市民に伝えたらいいか、なかなかいい形が作れず、例えば安心安全メールを送らせていただいていますけど、どのくらいの登録率かイメージできますでしょうか。安心安全メールはガラケーでも使えますので、多分、5割6割っていうイメージをされるかと思いますが、実は26%ぐらいです。アンケートをとると存在を知らないという方も多くいて、どうしたらいいのだろうと、そんな状況です。また、色々なアイディアを出し合いながら、プラットホーム等も作りながらやっていくしかないかなと思っています。一方で、それぞれの地域の関係性が、

薄くなっていくと、人も探せないという問題もありますので、やっぱりコロナの中でも、つき合いができる環境づくりというのを、早急に進めなきゃいけないのだと思います。特に子供たちを見守るにしても、なかなか普段から会ってない方々が子供に声をかけても子供が怯えてしまうような状況もありますので、そういったことも含めてコミュニティを大切にしていきたいなと思いますので、ご協力をよろしくお願ひしたいと思います。

(草薙委員)

先ほど石井委員から子ども家庭相談の内訳について、どんな相談が多いかの質問をいただき、身体的虐待が多いとお伝えしてしまったのですが、実際は心理的虐待が一番多いです。身体的虐待も多いのですが、DVを目撃しての心理的虐待が最も多くなっています。修正とさせていただきます。

(渡辺会長)

もしよろしければ、廣部教育長、何かご質問やご意見等あれば、一言お願ひしたいと思います。

(廣部教育長)

皆さま方には、日頃より様々なご支援をいただきありがとうございます。最近、私自身が危惧していることがありますので一点だけ申し上げます。昨日、某学校の校長先生と話しまして、おおそ児童が300名程の学校ですが、ひとり親のご家庭が62世帯とのことでした。5人に1人がひとり親で、そのうち9割が母子家庭ということで、それを踏まえると、この会は青少年問題協議会ですが、青少年の問題は社会問題なのではないかと思っています。また、従兄弟の数も激変しているということで、従兄弟がいらない子も増えています。ご両親が一人っ子の場合は、もちろん従兄弟はいません。何が問題かという、子ども達を取り巻く大人の数が激変しているということです。昔から第1の大人が親、第2が学校の先生であり、大事なものは第3の地域の大人という話をしている大学の先生もいらっしゃいました。この会議に参加いただいている、子ども達を取り巻く団体は非常に貴重だと思います。そんな団体が、子どもたちのためのイベントを企画しても、その子たちの親御さんたちは参加しないなど、色々な問題ができています。しかしながら、ここで大人が諦めてしまったら終わりになってしまうと思っています。私は学校に、甘えられない子どもが非常に増えてきている中で、甘えられる保証ができるのは学校しかないと話しています。愛着障害という言葉が今、新書などでも取りざたされているように、愛されない子どもが非常に増えており、それが様々な問題に繋がっています。保護者、親に対する支援ももちろん大事ですが、学校・保育園・幼稚園・学童などで受ける親以外の大人の愛情が大事になってくると考えています。ともすると愛情が不足している子どもたちは、学校で手がかかったりするので、だからといって学校で指導ばかりしていると、家でも愛されない、学校でも愛されないという状況になり、健全に育っていかないと考えています。皆さま方には日頃からお世話になっておりますが、是非学校と連携していただいて、子どもたちが自立できるようにしていければと思います。様々な意見を頂戴しながら木更津市教育委員会も進めてまいりたいと思いますので、今後とも引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

(渡辺会長)

ぜひ引き続き、皆様のご協力を改めてお願ひをさせていただきたいと思います。教育委員会、また、私も市長部局も一生懸命努力をさせていただきたいと思います。よろしくお願ひします。コロナで大変な思いをしている子供たちの1年2年というのは、我々の1年2年と重さが全然違うので、何とか皆さんと一緒に見守りながら、素晴らしい生活を送らせてあげたいと思いますので、よろしくお願ひします。

それでは本日の会議を終了させていただきたいと思います。皆様のご協力を改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

(事務局高石係長)

長時間にわたり貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。以上をもちまして、本

日の協議会のすべての日程が終了しました。なお、次回を開催を3月に予定しています。日程が決まり次第、お知らせさせていただきますので、よろしくお願いいたします。